

図表3-14 農福連携等推進ビジョン（概要）

農福連携等推進ビジョン（概要）（2019年6月4日農福連携等推進会議決定）	
<p><b>I 農福連携等の推進に向けて</b></p> <p>農福連携は、農業と福祉が連携し、障害者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組。年々高齢化している農業現場での貴重な働き手となることや、障害者の生活の質の向上等が期待</p> <p>農福連携は、様々な目的の下で取組が展開されており、これらが多様な効果を発揮されることが求められる。持続的に実施されるには、農福連携に取り組み農業経営が経済活動として発展していくことが重要で、個々の取組が地域の農業、日本の農業・国土を支える力になることを期待</p> <p>農福連携を全国的に広く展開し、裾野を広げていくには「知られていない」「踏み出しにくい」「広がっていない」といった課題に対し、官民挙げて取組を推進していく必要</p> <p>また、ユニバーサルな取組として、高齢者、生活困窮者等の就労・社会参画支援や犯罪・非行をした者の立ち直り支援等、様々な分野にウイングを広げ、地域共生社会の実現を図ることが重要（SDGsにも通じるもの）</p> <p>農福連携等の推進については、引き続き、関係省庁等による連携を強化</p> <p><b>II 農福連携を推進するためのアクション</b></p> <p>目標：農福連携等に取り組み主体を新たに3,000創出*</p> <p><b>1 認知度の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定量的なデータを収集・解析し、農福連携のメリットを客観的に提示</li> <li>優良事例をとりまとめ、各地の様々な取組内容を分かりやすく情報発信</li> <li>農福連携で生産された商品の消費者向けキャンペーン等のPR活動</li> <li>農福連携マルシェなど東京オリンピック・パラリンピック等に合わせた戦略的プロモーションの実施</li> </ul> <p><b>2 取組の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>農福連携に取り組み機会の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンストップで相談できる窓口体制の整備</li> <li>スタートアップマニュアルの作成</li> <li>試験的に農作業委託等を短期間行う「お試しノウワク」の仕組みの構築</li> <li>特別支援学校における農業実習の充実</li> <li>農業分野における公的職業訓練の推進</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニーズをつなぐマッチングの仕組み等の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業経営体と障害者就労施設等のニーズをマッチングする仕組み等の構築</li> <li>コーディネーターの育成・普及</li> <li>ハローワーク等関係者における連携強化を通じた、農業分野での障害者雇用の推進</li> </ul> </li> <li>障害者が働きやすい環境の整備と専門人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>農業法人等への障害者の就職・研修等の推進と、障害者を新たに雇用して行う実践的な研修の推進</li> <li>障害者の作業をサポートする機械器具、スマート農業の技術等の活用</li> <li>全国共通の枠組みとして農業版ジョブコーチの仕組みの構築</li> <li>農林水産研修所等による農業版ジョブコーチ等の育成の推進</li> <li>農業大学校や農業高校等において農福連携を学ぶ取組の推進</li> <li>障害者就労施設等における工賃・賃金向上の支援の強化</li> </ul> </li> <li>農福連携に取り組み経営の発展 <ul style="list-style-type: none"> <li>農福連携を行う農業経営体等の収益力強化等の経営発展を目指す取組の推進</li> <li>農福連携の特色を生かした6次産業化の推進</li> <li>障害者就労施設等への経営指導</li> <li>農福連携でのGAPの実施の推進</li> </ul> </li> </ul> <p><b>3 取組の輪の拡大</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各界関係者が参加するコンソーシアムの設置、優良事例の表彰・横展開</li> <li>障害者優先調達推進法の推進とともに、関係団体等による農福連携の横展開等の推進への期待</li> </ul> <p><b>III 農福連携の広がりへの推進</b></p> <p>「農」と「福」のそれぞれの広がりを目指し、農福連携等を地域づくりのキーワードに据え、地域共生社会の実現へ</p> <p><b>1 「農」の広がりへの支援</b></p> <p>林業及び水産業において、特殊な環境での作業もあることにも留意しつつ、障害特性等に応じた、マッチング、研修の促進、経営発展を目指す取組の推進、林・水産業等向け障害者就労のEPA事業の創設</p> <p><b>2 「福」の広がりへの支援</b></p> <p>高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者等の働きづらさや生きづらさを感じている者の就労・社会参画の機会の確保や、犯罪や非行をした者の立ち直りに向けた取組の推進</p>

資料：厚生労働省及び農林水産省

図表3-15 農福連携等による障害者の就労促進プロジェクト

### 農福連携等による障害者の就労促進プロジェクト（工賃向上計画支援等事業特別事業）

令和5年度当初予算案 3.4億円（3.4億円） ※（）内は前年度当初予算額

**事業の趣旨**

農業・林業・水産業等の分野での障害者の就労を支援し、障害者の工賃水準の向上及び農業等の支え手の拡大を図るとともに、障害者が地域を支え地域で活躍する社会（「1億総活躍」社会）の実現に資するため、障害者就労施設への農業等に関する専門家の派遣や農福連携マルシェの開催等を支援する。また、過疎地域における取組を後押しする。

**実施主体**

都道府県  
※社会福祉法人等の民間団体へ委託して実施することも可

**補助内容・補助率**

- 農業等の専門家派遣による6次産業化の推進  
農業等に関するノウハウを有していない障害者就労施設に対する技術指導・助言や6次産業化に向けた支援を実施するための専門家の派遣等に係る経費を補助する。
- 農福連携マルシェ開催支援事業  
農業等に取り組み障害者就労施設による農福連携マルシェの開催に係る経費を補助する。（ブロック単位でも開催可）
- 意識啓発等  
農業等に取り組み障害者就労施設の好事例を収集し、セミナー等を開催する経費を補助する。
- マッチング支援  
農業等生産者と障害者就労施設による施設外就労とのマッチング支援を実施する経費を補助する。

※過疎地域における取組を優先的に補助。

**<事業のスキーム>**

厚生労働省 → 補助（補助率：9/10） → 都道府県

都道府県 → 農福連携マルシェの開催 ※委託による実施可

都道府県 → 専門家の派遣等の支援等 ※委託による実施可

農福連携マルシェの開催 → 障害者就労施設

専門家の派遣等の支援等 → 障害者就労施設

農福連携マルシェへの参加

障害者就労施設 → 農業の取組推進 ⇒ 6次産業化

資料：厚生労働省